



ご挨拶

難民を助ける会は1979年の設立以来、すでに27年目を迎えました。昨年度も、おかげさまをもちまして、事業、財政とも、概ね順調に実施・拡充することができました。

その第一の要因は、ご協力くださった全国各地の個人の方々や企業、財団など、関係者のご理解とご支援によるものです。衷心より厚く御礼申し上げます。

第二は、資金的にご寄付を受けやすい認定NPO法人（寄付金が税金控除の対象となる）の認定をいただいていることです。難民を助ける会は2000年にNPO法人となりましたが、2003年に最初の認定NPO法人の認定を受けました。当時NPO法人が全国に2万団体を超えるなか、18番目の認定NPO法人として、国税庁の認定を受けることができました。2005年に、認定NPO法人の二度目の認定を無事にいただくことができましたのも、ひとえに皆様のおかげと感謝申し上げます。

2005年度も、パキスタン地震といった、自然災害による緊急支援活動にも即座に対応し、引き続きスマトラ島沖大地震被災者への復興支援も継続しました。戦争にしても、自然災害にしても、その被害は一過性のものではなく、人々が本来の暮らしを取り戻すまでには長い時間がかかります。

難民を助ける会は、難民の人々、地雷などで障害を負った人々への自立支援、地雷対策、HIV/エイズの対策、マラリア予防など幅広い活動を行っています。

困難な状況にある人々が、自分たちで未来を築き上げる最初の一步を共に歩む、それがわたしたちの活動です。

最終的にはわたしたちの活動が誰からも必要とされなくなる日が来る、それが一番の願いです。そのためにも、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

認定NPO法人 難民を助ける会

理事長 柳瀬 房子

2005(平成17) 年度事業報告

概況

2005度も、多くの皆さまから温かいご支援賜りましたこと、まずもって衷心より御礼申し上げます。難民を助ける会は2003年に、国税庁より寄付金が税金控除の対象となる認定NPO法人の認定を受けました。認定の有効期間は2年間ですが、おかげさまで昨年11月に再認定を受けることができました。NPO法人の数は全国に約2万6千を超えましたが、内、認定NPO法人は年度末で40団体程度に過ぎません。2005年度もこの特典を活かすことができ、毎年6月と12月をお願いしている季節の募金のお願いをはじめ、パキスタン大地震緊急支援の呼びかけにも大変多くの方々からご協力をいただきました。ありがとうございました。

2005年度は、「“小型武器よさらば” NGO国際会議」の開催、20年以上に及ぶ内戦が包括和平合意により終結したスーダンでの支援開始、またパキスタン大地震への対応など多くの新しい取り組みを開始した年度となりました。この結果、東京本部以外に、世界10カ国に13事務所を構えての活動となりました。また、パキスタン大地震に際しては、事務所は設置しないものの、東京及び隣国のアフガニスタンから随時スタッフを派遣し、現地団体と密接な協力のもと、緊急・復興支援を進めました。

2006年2月には加藤タキ副理事長がザンビアのエイズ事業の現場を初めて視察、帰国後の報告会等を通じて多くの方々へ支援の必要性を訴えました。また札幌、大阪、舞鶴の各都市で会長、理事長も参加しての特別報告会を開催したり、2005年8月には姉妹団体「さぼうと21」と協力し、難民、在日外国人の方々との「夏期研修会」を職員研修も兼ねて4年ぶりに実施するなど、国内・海外双方のプロジェクトを活発に推進いたしました。

以下事業ごとに詳細をご報告します。

海外活動

カンボジア	2005年度事業決算 ¥21,267,985
事業名：①	障害者*職業訓練
事業実施地：	カンボジア王国プノンペン特別市 キエンクリエン障害者支援センター
実績：	障害者職業訓練センターの運営を継続した。生徒が村の修理工場で訓練を受ける徒弟制度を本格化させるなど、訓練内容をより充実させた。また、2008年度末までに運営を自立させる計画を推進。3年間で必要な資金をすべて現地で集められるようにし、日本人駐在員の業務はカンボジア人スタッフが引継ぐ。
受益者	年間43名が卒業(バイク修理コース、テレビ・ラジオ修理コース、縫製コースの合計)
事業名：②	車椅子工房(製造・配布)
事業実施地：	カンボジア王国プノンペン特別市 キエンクリエン障害者支援センター
実績：	当初の計画どおり300台の車椅子を製造し無償で配布した。また、2008年度末までにカンボジア人スタッフの手で運営を自立させる計画を推進。難民を助ける会からの人的・資金的支援は段階的に減らし3年間でゼロにする。
受益者	車椅子を配布した300名の障害者とその家族
ラオス	2005年度事業決算 ¥22,414,628
事業名：①	障害者のための車椅子普及支援事業
事業実施地：	ラオス人民民主共和国ビエンチャン市(国立リハビリテーションセンター内)
実績：	障害者各人の身体や生活環境に合った車椅子を製造・配布できるようにするため、作業療法士による医療面からのアプローチを強化した。具体的には、製造前の査定(採寸・最適な車椅子のタイプの選定)、技術強化のための「査定研修」の実施、デザインの再検討、集中的使用状況調査の実施、患者データベースの構築などがあげられる。
受益者	年間約 500 名(年間約500台を製造)の障害者及びその家族

*「障害者」の表記については様々なご意見がありますが、難民を助ける会は現在のところ「障害者」の表記を使用しています。今後も専門家のご意見や社会情勢を参考にしながら、判断をしていきたいと思っております。

ミャンマー（ビルマ） 2005年度事業決算 ￥9,875,405	
事業名：①	身体障害者のための職業訓練校
事業実施地：	ミャンマー連邦ヤンゴン市内
実績：	障害者職業訓練校の運営を継続した。全国から集まった障害者に技術・ビジネス知識・社会適応力などが身につくような教育を行った。障害当事者職員を雇用（13名中8名）。職業紹介システムを構築し、まずは卒業生を対象に開始。理髪モデルショップ（実践の場として技術の向上、経営手法を習得するための店舗）を市内に開店。卒業生中心の自助組織の支援も継続。
受益者	身体障害者（地雷、ポリオ後遺症、事故、先天性による四肢障害者や聴覚障害者などを含む）、18-40歳の男女90名。より必要性の高い女性、貧困層、非軍人、低教育層を優先。
事業名：② ミャンマー・子どもの未来（あした）・プログラム（里親制度）	
事業実施地：	ミャンマー連邦ヤンゴン市
実績：	現地NGOの障害児施設の運営支援を通して、障害児へのリハビリ訓練、栄養食の提供、医療アドバイス等を実施した。日本では、年3回ニュースレターを発行し里子の近況を報告するなど、子ども達の状況をよく把握してもらうよう努めた。
受益者	知的・身体障害児（約80名）
ザンビア 2005年度事業決算 ￥21,039,848	
事業名：①	HIV/エイズ対策 子ども就学支援
事業実施地：	ザンビア共和国ルサカ市ンゴンベ地区
実績：	ルサカ市内ンゴンベ地区で活動する現地NGOを通じ、HIV/エイズの影響を受けている子どもの就学を支援した。具体的には1)子どもに対する学費補助や学用品支給 2)保護家庭への栄養改善指導、3)家庭訪問による心理的支援に加え、特に困窮している世帯に対する食糧配布、2006年度より開始する小規模ビジネス活動の準備としてマーケティング研修、活動企画会議等を実施した。
受益者	就学支援：孤児や脆弱な立場にある子ども：81名（就学支援） 栄養改善指導：就学支援対象児の保護者81名及びその家族405名 食糧配布：41世帯
事業名：② HIV/エイズ対策 カウンセリング・検査センター整備支援	
事業実施地：	ザンビア共和国ルサカ州及び中央州
実績：	難民を助ける会が2004年度に支援を行った13のセンターにおける利用状況を監督した。また、血液や検査キットを保存するための冷蔵庫の供与や、カウンセラーへの研修などの支援も実施した。
受益者	ルサカ州及び中央州の13のカウンセリング・検査センター管轄地域住民43万人
事業名：③ HIV/エイズ対策（チランガ）	
事業実施地：	ザンビア共和国ルサカ州チランガ周辺（首都ルサカ市より南西に20km）
実績：	主に関連機関との連絡、調整やパートナーであるanti-AIDSクラブやHIV陽性者支援グループへの研修を実施し、2006年度の活動への基盤作りを行った。また、12月には地元団体とともに世界エイズデーのイベントを開催し、啓発活動も実施した。
受益者	協力団体：地域内5校のAnti-AIDSクラブ、HIV陽性者支援グループ、チランガホスピス、ヘルスセンターなど 啓発活動：世界エイズデーイベントへの参加：800人 3年後の直接受益者予定数：27,000人

アンゴラ	2005年度事業決算 ¥49,482,892
事業名：①	地雷回避教育事業
事業実施地：	アンゴラ共和国ルンダスル州サウリモ・カコロ両郡
実績：	住民に地雷回避教育を実施した地域での調査では、地雷に関する知識改善が確認され、住民から報告された地雷・不発弾の発見情報は278件にのぼった。このうち、215件が提携する地雷除去団体によって除去・不活性化処理された。今後住民が自主的に地雷回避教育を実施できるように、特に地雷の汚染が深刻な村の代表者を中心に研修会を実施した。
受益者	地雷回避教育：のべ約13,500人 研修会参加村落数：30村

事業名：②	マラリア予防キャンペーン
事業実施地：	アンゴラ共和国ルアンダ市キランバキアシ地区マランジーノ行政区
実績：	1万人以上の住民にマラリア予防教育を実施すると共に、地域病院と協力して抵抗力が特に弱い妊産婦の登録を行い、雨季に合わせ1400張の蚊帳を配布した。また病院スタッフ30名に対し治療・予防に関する講習会を実施。教育教材としてポスターと映像を製作した。
受益者	対象住民3万人のうちマラリア予防教育を受けた住民はのべ17,500人、1400家族に蚊帳を配布。

アフガニスタン	2005年度事業決算 ¥75,404,005
事業名：①	地雷回避教育・地雷被害者支援
事業実施地：	アフガニスタン・イスラム共和国全土
実績：	2005年8月に地雷回避移動映画教室を開始、2006年3月までに25,000名に授業を行った。当会制作地雷回避教育教材（映画、ポスター等）は国連の公認教材として全国で使用されている。また、教材制作及び外部関係者との調整を通じ現地職員の能力向上を図った。
受益者	数百万人（帰還民・テレビ/ラジオ視聴者含む）

事業名：②	地雷・不発弾除去支援
事業実施地：	アフガニスタン・イスラム共和国
実績：	イギリスの地雷除去NGOヘイロー・トラストと協力し、地雷及び不発弾除去活動を行った。2004～2005年度はアフガニスタン北部のクンドゥズ州、タカール州、バグララン州にて不発弾の除去に従事、2004年10月～2005年12月にかけて対人地雷5個と不発弾929個を除去し、3,869,145㎡の土地を安全にした。
受益者	クンドゥズ州、タカール州、バグララン州の地雷原の住民

事業名：③	障害者支援-理学療法によるリハビリテーションの提供・義肢装具入手支援
事業実施地：	アフガニスタン・イスラム共和国タカール州 カラフガン郡・ホジャガ郡
実績：	理学療法クリニック（2カ所）を引き続き運営し、理学療法によるリハビリテーションを提供するとともに必要な患者には義肢装具入手を支援した。また両クリニックを基点に、理学療法士が患者の家を訪れ治療やリハビリテーションを指導する巡回診療を開始した。
受益者	ポリオによる後遺障害や麻痺障害、地雷などによる四肢損傷者等/直接受益者数はのべ6,889人（内1,393人が女性） 巡回診療：14人

タジキスタン	2005年度事業決算 ¥15,054,868
事業名：①	地域住民の健康改善事業-医療機材供与
事業実施地：	タジキスタン共和国ラシュト地域ヌラバード（旧ダルバン）郡
実績：	国内でも特に経済的に貧しく、支援が必要とされているヌラバード郡ヘルスセンターへ基本的医療機材を供与するとともに、同ヘルスセンターとともに地域住民への保健医療教育、巡回診療を開始した。
受益者	ヌラバード郡地域住民 約8,000世帯

タジキスタン	
事業名：②	障害者連盟能力開発事業
事業実施地：	タジキスタン共和国ラシュト地域ジルカダル郡・タジカバード郡
実績：	ジルカダル郡、タジカバード郡障害者連盟へ基本的農機具機材を供与し、障害者の自助組織である同連盟による障害者への食糧配布事業を支援している。
受益者	ジルカダル郡・タジカバード郡の障害者 計2,600人

スリランカ 2005年度事業決算 ￥38,993,805	
事業名：①	津波被災地復興支援
事業実施地：	スリランカ民主社会主義共和国ゴール県イマドゥワ地区
実績：	2004年12月26日のインド洋大津波で被災したスリランカ南部ゴール県にて地域復興支援を行った。国際移住機関（IOM）や現地NGOとの密接な連携のもと、住宅30棟や地域センターの建設の他、インフラ整備、心のケア、女性支援や生活再建支援も含めた総合的な地域復興支援を進めた。
受益者	受益者グループ：津波被災者（主に住宅の全壊した被災者を対象） 移転予定の30家族（約150人）及び周辺地域住民500人

スーダン 2005年度事業決算 ￥17,997,643	
事業名：①	南部帰還民支援 地雷対策
事業実施地：	スーダン共和国ハルツーム
実績：	2005年11月に首都ハルツームに事務所を開設。国連機関との調整や、現地での登録作業など地雷回避教育のための教材作成事業開始への準備を行った。
受益者	スーダン南部に帰還する難民、国内避難民、地域住民

事業名：②	南部帰還民支援 女性と子ども支援
事業実施地：	スーダン共和国東エクアトリア州カボエタ市周辺
実績：	2005年8月に隣国ケニアの首都ナイロビに事務所を開設。事前現地調査に基づいて活動内容を立案の上、2005年12月より、現地NGOと協力して伝統的助産師の育成及びクリニックでの緊急栄養改善活動を開始した。
受益者	緊急栄養改善活動（予定）：約2,500人

緊急支援 2005年度事業決算 ￥17,549,843

事業名：①	パキスタン地震緊急支援
事業実施地：	パキスタン・イスラム共和国北部
実績：	2005年10月の大地震被災者に対し、現地協力団体と協力して、食糧、日用雑貨などの入ったファミリーセット500世帯に配布、また、プラスチックシート、毛布、テント、水保管容器、トタン板を配布した。
受益者	パキスタン大地震の被災者約3,000世帯（18,000人）

国際交流 2005年度事業決算 ￥597,258

事業名：①	南北コリア子ども絵画展
事業実施地：	東京・ソウル・ピョンヤン
実績：	「南北コリアと日本のともだち展」実行委員会の事務局メンバーとして、韓国・北朝鮮・日本・在日コリアンの子どもたちの絵画展・写真展・平和ワークショップを開催した。
受益者	300人（東京展入場者数）、応募絵画数180点

国内活動 2005年度事業決算 ¥69,279,090

地雷廃絶キャンペーン

実績：	2005年12月にクロアチアのザグレブで開催された対人地雷禁止条約第6回締約国会議に参加したほか、外務省との会合やイベントを通じて、地雷廃絶を訴えた。
-----	---

新潟支援

実績：	2004年10月の新潟県中越大地震によって施設に被害を受けた精神障害者通所授産施設「魚野の家」（新潟県南魚沼市：旧六日町市）の修復工事を支援。
-----	---

小型武器国際会議

実績：	2005年5月児童兵、小型武器問題について協議する初のNGO主催の会議「小型武器よさらばNGO国際会議in Tokyo」（於：上智大学）を2日間にわたり開催、のべ600人が参加した。
-----	---

啓発

実績：	総合学習等への対応の一環として、パネルやビデオ等の貸し出し、修学旅行生の受け入れ、講演等を通じ、地雷や難民問題の啓発教育に努めた。またスクールサポーター制度（学校会員）を実施し、学校向け会報誌「サニーズボイス」をボランティア中心に制作し発行した。
-----	---

報告会

実績：	25周年記念事業の一環として、2005年4月に札幌、舞鶴、大阪にて25周年特別報告会を実施し、普段お目にかかれない東京以外の支援者の方々と触れ合う場を設けた。また11月には議員会館において報告会「スーダン難民支援緊急アピール」を開催した。
-----	---

在日難民支援等

実績：	姉妹団体社会福祉法人「さぼうと21」との協力を継続。さぼうと21と合同で支援生（難民、元難民、在日外国人等）ら78名が参加した夏期研修会を実施。在日難民の問題等について学ぶ機会を得た。 理事長柳瀬房子が法務省難民参与員として、難民不認定処分を受け不服申し立てを行った難民の審査について意見を述べるとともに、異議申立人の意見陳述に立会い審尋した。
-----	---

広報・募金活動

実績：	11月に国税庁の認定NPO法人の認定の継続認定を受け、引き続きご寄付は寄付金控除の対象となる。 自己資金充実のため夏と冬時期に募金キャンペーンを実施し、ホームページ等での情報発信、様々なネットを通じての情報発信をより拡大した。
-----	--

スタディツアー

実績：	2006年3月に3泊5日にてカンボジア事業体験のスタディツアーを実施、14名の参加者にカンボジアの地雷問題の現実や、障害者自立支援事業を直接目にし、考えてもらう機会を提供した。
-----	--

チャリティコンサート行事、チャリティグッズ販売等

実績：	2006年2月スーダン難民支援として倉本裕基チャリティコンサートを実施、盛況を呈した。 シャボン玉石けん協力のサニーちゃんバスソープシリーズや、オリジナルのチャリティグッズ等を継続して販売した。 地雷廃絶キャンペーン絵本等を引き続き販売したほか、創立25周年を記念して、設立当初からのボランティアや、現役スタッフ等27名（25組）の国際協力への想いをまとめた『会社に尽くしますか？社会に尽くしますか？－ワーク・アット・国際協力のススメ』を出版。
-----	--

2005(平成17)年度決算報告

貸借対照表 [財産目録] (2006年3月31日現在)

資産の部

科 目		金 額(円)
流動資産		
現金預金		
現金(国内)		374,152
預金(国内普通預金12口座)		13,976,209
預金(国内郵便振替6口座)		87,906,918
海外現預金(海外11事務所)		44,480,656
	計	146,737,935
預け金		
E-ビリング口座		123,593
	計	123,593
未収金		
独立行政法人 国際協力機構		1,627,335
外務省NGO相談委託業務費		491,400
	計	2,118,735
売掛金		
個人・法人(物販)		63,547
	計	63,547
立替金		
アフリカ日本協議会(マラリア研究会)		1,164,860
職員社会保険料		4,434
	計	1,169,294
前払金		
海外事務所家賃保証金等		696,402
職員出張旅費		302,990
天満敦子コンサート チラシ印刷費		14,700
	計	1,014,092
貯蔵品		
切手		362,498
	計	362,498
棚卸資産		
商品		5,078,585
	計	5,078,585
流動資産合計		156,668,279
固定資産(注1)		
車両		
乗用車・トラック14台、バイク5台		14,362,497
	計	14,362,497
備品		
コンピューター53台、発電機28台、無線機20台他		12,586,285
	計	12,586,285
敷金		
ミズホビル		4,180,000
	計	4,180,000
固定資産合計		31,128,782
資産合計		187,797,061

注1:敷金・コンピューター6台・その他備品3点以外は、海外事務所保有資産

負債・正味財産の部

科 目	金 額(円)
負債	
流動負債	
買掛金	
シャボン玉販売(株) シャボン玉石鹸	674,310
(株)自由国民社 書籍	39,749
計	714,059
未払金	
海外駐在員積立金	9,659,369
国際連合地雷対策サービス部(UNMAS)(注2)	1,555,068
社会保険料事業主負担分	421,503
消費税(物販・コンサート)	370,800
法人都民税均等割	70,000
佐川急便(株)(運送費)	22,858
計	12,099,598
預り金	
社会保険料	420,437
源泉所得税	148,990
海外職員滞在費	29,370
計	598,797
流動負債合計	13,412,454
固定負債合計	0
負債合計	13,412,454
正味財産	
前期繰越正味財産	208,377,764
正味財産増加額	-33,993,157
正味財産合計	174,384,607
負債及び正味財産合計	187,797,061

注2: 事業期間満了による剰余金返還分

収支計算書 (自2005年4月1日至2006年3月31日)

収入の部

科 目	2005年度決算		2005年度予算	対比(決算-予算)
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	金額(円)
一般勘定				
会費				
正会員	3,849,000			
協力会員	4,185,000			
計	8,034,000	2.2%	11,000,000	-2,966,000
寄附				
寄附金	180,512,471			
計	180,512,471	50.5%	200,000,000	-19,487,529
補助金等 (注3)				
民間資金				
フェリスモ地球村の基金	4,500,000		(スーダン②、緊急支援①)	
財団法人 日本国際協力財団	2,000,000		(カンボジア①)	
財団法人 笹川平和財団	2,000,000		(小型武器国際会議)	
社団法人 日本遊技関連事業協会	1,000,000		(緊急支援①)	
三井住友銀行ボランティア基金	1,000,000		(アフガニスタン③)	
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォームNGOユニット (注4)	100,000		(スリランカ①)	
民間資金 小計	10,600,000	3.0%	14,200,000	-3,600,000
公的資金				
外務省日本NGO支援無償資金協力	64,612,053		(アンゴラ①②、タジキスタン①②)	
国際連合地雷対策サービス部 (UNMAS) (注5)	41,220,782		(アフガニスタン①)	
独立行政法人 国際協力機構 (草の根技術協力事業)	17,705,955		(ラオス①)	
国連児童基金 (unicef)	3,959,480		(アフタニスタン①)	
国際移住機関 (IOM)	3,169,399		(スリランカ①)	
東京都生活文化振興	2,336,333		(カンボジア②)	
独立行政法人 国際協力機構 (帰国隊員支援)	114,000		(スリランカ①)	
公的資金 小計	133,118,002	37.3%	145,900,000	-12,781,998
計	143,718,002	40.2%	160,100,000	-16,381,998
その他収入				
受取利息	77,739			
雑収入	1,350,442			
固定資産売却	30,060			
為替差益 (注6)	4,679,032			
計	6,137,273	1.7%	1,300,000	4,837,273
一般勘定収入合計				
	338,401,746	94.7%	372,400,000	-33,998,254
収益勘定 (注7)				
チャリティグッズ・イベント等売上	12,993,875	3.6%	23,300,000	-10,306,125
受託収入・ロイヤルティ・著作権等	5,889,161	1.6%	3,910,000	1,979,161
収益勘定収入合計	18,883,036	5.3%	27,210,000	-8,326,964
収入合計	(A) 357,284,782	100.0%	399,610,000	-42,325,218

注3: 申請書を提出して事業費の助成を受けたもの。その他の団体からのご寄付は、個人からのご寄付と合わせて「寄付金」に計上

注4: ジャパン・プラットフォームからの補助金のうち、政府供与資金(外務省)を財源とするものは公的資金、それ以外の民間からの資金を財源とするものは民間資金として計上

注5: 事業終了による剰余金1,558,068円は未払い金に計上(6-7頁の貸借対照表を参照)

注6: 取引ではなく外貨を円換算したことによる

注7: 詳細は10頁の「収益勘定収支計算書」を参照

支出の部

科 目	2005年度決算		2005年度予算 金額(円)	対比(決算-予算) 金額(円)
	金額(円)	構成比(%)		
一般勘定				
海外プロジェクト費 (注8)	289,678,180	75.1%	394,400,000	-104,721,820
地雷廃絶キャンペーン				
ICBL活動	1,606,987		3,200,000	-1,593,013
計	1,606,987	0.4%	3,200,000	-1,593,013
国内プロジェクト費				
新潟支援	2,542,391		4,000,000	-1,457,609
小型武器国際会議	9,855,894		13,400,000	-3,544,106
啓発活動	7,033,743		8,600,000	-1,566,257
広報活動	28,347,212		25,200,000	3,147,212
計	47,779,240	12.4%	51,200,000	-3,420,760
管理費 (注9)				
人件費	10,584,337		12,800,000	-2,215,663
その他管理費	16,080,862		19,800,000	-3,719,138
計	26,665,199	6.9%	32,600,000	-5,934,801
その他支出				
固定資産取得支出	289,044			289,044
その他支出	43,603			43,603
計	332,647	0.1%		332,647
一般勘定支出合計	366,062,253	94.8%	481,400,000	-115,337,747
収益勘定 (注10)				
チャリティグッズ・イベント等仕入	9,418,799	2.4%	17,050,000	-7,631,201
販売管理費	10,474,064	2.7%	7,950,000	2,524,064
収益勘定支出合計	19,892,863	5.2%	25,000,000	-5,107,137
支出合計	(B) 385,955,116	100.0%	506,400,000	-120,444,884

注8: 詳細は11頁の「海外プロジェクト費明細」を参照

注9: 詳細は11頁の「一般勘定管理費詳細」を参照

注10: 詳細は10頁の「収益勘定収支計算書」を参照

当期収支差額	(A-B)=(C)	-28,670,334	
前期末資金残高	(D)	166,485,076	
当期末資金残高	(C+D)	137,814,742	(注11)

非資金取引の内訳

増加の部

固定資産購入額	5,402,017
資産増加額	709,830
計	6,111,847

減少の部

当期減価償却費	9,599,085
固定資産売却額	1,826,127
固定資産除却額	2
資産減少額	9,456
計	11,434,670

差引増加額	-5,322,823
-------	------------

注11: 内外務省補助金未使用額 40,652,357円

収益勘定収支明細（自2005年4月1日至2006年3月31日）

収入の部

科 目	2005年度決算		2005年度予算	対比(決算-予算)
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	金額(円)
チャリティグッズ・イベント等売上				
コンサート	7,487,000		12,500,000	-5,013,000
チャリティ・グッズ	1,747,031		4,500,000	-2,752,969
書籍	2,488,285		4,000,000	-1,511,715
シャボン玉石けん	1,271,559		2,300,000	-1,028,441
計	12,993,875	68.8%	23,300,000	-10,306,125
その他				
事務費用受託収入(注12)	4,548,653		1,260,000	3,288,653
ロイヤルティ	56,490		150,000	-93,510
著作権	1,258,127		2,500,000	-1,241,873
受取利息	9			9
雑収入	25,882			25,882
計	5,889,161	31.2%	3,910,000	1,979,161
収入合計	(E) 18,883,036	100.0%	27,210,000	-8,326,964

注12: TBS地雷ゼロキャンペーン事務委託手数料、NGO事業活動環境整備支援を含む

支出の部

科 目	2005年度決算		2005年度予算	対比(決算-予算)
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	金額(円)
チャリティグッズ・イベント等仕入				
コンサート	3,754,451		9,500,000	-5,745,549
チャリティ・グッズ	1,809,011		3,150,000	-1,340,989
書籍	2,326,657		2,800,000	-473,343
シャボン玉石けん	1,528,680		1,600,000	-71,320
計	9,418,799	47.3%	17,050,000	-7,631,201
販売管理費 (注13)				
人件費	5,890,224		4,540,000	1,350,224
販売費及び一般管理費	4,583,840		3,410,000	1,173,840
計	10,474,064	52.7%	7,950,000	2,524,064
営業外支出	0	0.0%	0	0
支出合計	(F) 19,892,863	100.0%	25,000,000	-5,107,137

当期経常収支差額 (E-F)=(G) **-1,009,827**

注13: 詳細は11頁の「収益勘定管理費詳細」を参照

一般勘定繰入金支出 (H) **0**

当期収支差額 (G-H)=(I) **-1,009,827**

棚卸資産増加額 (J) **709,830**

当期正味資産増加額 (I+J) **-299,997**

当期課税対象利益 (G+J) **-299,997**

海外プロジェクト費明細

内 訳	2005年度決算 金額(円)	2005年度予算 金額(円)	対比(決算-予算) 金額(円)
カンボジア			
障害者職業訓練	12,807,690	14,800,000	-1,992,310
車椅子工房	8,460,295	6,600,000	1,860,295
計	21,267,985	21,400,000	-132,015
ラオス			
車椅子普及支援	22,414,628	22,900,000	-485,372
計	22,414,628	22,900,000	-485,372
ミャンマー			
障害者職業訓練	6,561,803	8,500,000	-1,938,197
里親制度(障害児支援)	3,313,602	4,100,000	-786,398
計	9,875,405	12,600,000	-2,724,595
ザンビア			
エイズ対策 (孤児支援・検査施設支援)	21,039,848	38,200,000	-17,160,152 ①
計	21,039,848	38,200,000	-17,160,152
アンゴラ			
地雷回避教育	39,837,312	51,300,000	-11,462,688 ②
車椅子修理	0	3,600,000	-3,600,000 ③
マラリア予防	9,645,580	8,800,000	845,580
計	49,482,892	63,700,000	-14,217,108
アフガニスタン			
地雷回避教育	53,376,262	93,400,000	-40,023,738 ④
地雷・不発弾除去	7,030,000	6,500,000	530,000
パキスタン支援	0	3,800,000	-3,800,000 ⑤
障害者支援	14,997,743	25,200,000	-10,202,257 ⑥
計	75,404,005	128,900,000	-53,495,995
タジキスタン			
医療機材供与	5,708,250	13,600,000	-7,891,750 ⑦
農機具供与	8,576,921	8,700,000	-123,079
障害者連盟能力開発	0	6,800,000	-6,800,000 ⑧
養蜂用資材供与	0	2,900,000	-2,900,000 ⑨
医療支援・農業支援	769,697	700,000	69,697
計	15,054,868	32,700,000	-17,645,132
スリランカ			
津波被災地復興支援	38,993,805	50,400,000	-11,406,195 ⑩
計	38,993,805	50,400,000	-11,406,195
スーダン			
南部帰還民支援	17,997,643	12,600,000	5,397,643
計	17,997,643	12,600,000	5,397,643
緊急他			
パキスタン地震支援	17,549,843	10,000,000	7,549,843
計	17,549,843	10,000,000	7,549,843
国際交流			
南北コリア子ども絵画展	597,258	1,000,000	-402,742
計	597,258	1,000,000	-402,742
海外プロジェクト費合計	289,678,180	394,400,000	-104,721,820

※「障害者支援」には、地雷被害者に対する支援を含む

①:事業開始の遅れ

②:活動予定の一部地域への立ち入りが天候等の理由で制限されたため

③:他団体による車椅子の回収と当会への配送が実現しなかった

④:地雷回避教育教材制作の遅れ(次年度に実施)

⑤:適切な提携現地NGOが見つからずまた活動許可延長が実現しなかった

⑥:事業地域の治安悪化等で他団体義肢装具工房への患者搬送が一時滞った

⑦:事業開始の遅れ

⑧:次年度実施

⑨:同上

⑩:事業(工事)開始の遅れ

一般勘定管理費詳細

内 訳	2005年度決算 金額(円)
人件費	
給料手当	9,779,174
法定福利費	805,163
計	10,584,337
その他管理費	
福利厚生費	831,746
家賃・管理費	7,005,480
通信費	527,232
機器保守メンテナンス料	1,105,071
リース料	1,572,584
支払報酬	1,008,000
支払手数料	1,546,483
その他	2,484,266
計	16,080,862
一般勘定管理費合計	26,665,199

収益勘定管理費(販売管理費)詳細

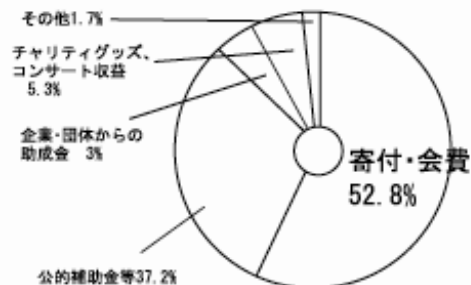
内 訳	2005年度決算 金額(円)
人件費	
給料手当	5,413,583
法定福利費	476,641
計	5,890,224

販売費及び一般管理費

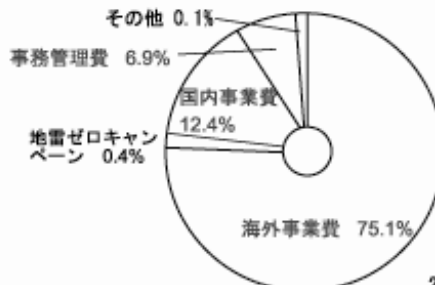
家賃・管理費	2,335,159
機器保守メンテナンス	207,101
リース料	857,654
租税公課	568,500
その他	615,426
計	4,583,840
収益勘定管理費合計	10,474,064
管理費合計	37,139,263
(一般勘定+収益勘定)	

難民を助ける会の資金の多くは、個人の方、グループの方などからのご寄付や会費から成り立っています。幅広い皆様から支えていただいて活動が成り立っているという点が、難民を助ける会の大きな特長の一つです。

■収入 357,284,782円 (繰越金含まず)



■支出 385,955,116円



2005年4月～2006年3月

2005年度に助成を受け、連携して事業を実施した国際機関等

外務省、国連地雷対策サービス部 (UNMAS)、国連児童基金 (UNICEF)、国際移住機関 (IOM)、独立行政法人国際協力機構 (JICA)、ジャパンプラットフォーム

◆ **ご寄付の方法**

- ・ 郵便局から 郵便振替 00110-6-96509 加入者名 難民を助ける会
- ・ インターネットから <http://www.aarjapan.gr.jp>
(クレジットカード決済、コンビニ決済、イーバンク、ウェブマネー等に対応)
- ・ マンスリーサポーター 毎月継続してご支援いただけます。(クレジットカード、郵便振替、銀行)
- ・ 銀行から 三井住友銀行 目黒支店 普)1215794 難民を助ける会
三菱東京UFJ銀行 目黒支店 普)4520323 難民を助ける会
(銀行振込の場合お手数ですが当会までご連絡ください。お振込み人様が当会では特定できませんので、領収書等のご連絡いただかないと発行できません)

◆ **その他のご協力方法**

- ・ 書き損じハガキ、未使用の切手を送ってください。書き損じハガキは郵便局で切手や新しいハガキに交換、または送料の支払いにあてることが出来ます。
- ・ パネル等の貸出を行っています。グループでの活動、地域でのイベント、学校祭等で展示して、より多くの人に知ってもらえます。
- ・ 募金箱をおいてください。店頭や、受付、ご自宅にも。集まった募金は郵便局などからお振込みください。
- ・ ノースウエスト航空のマイレージが寄付できます。寄付されたマイルは、現地への派遣の航空券として利用できます。

その他にも、個人で、学校で、団体で、会社で、ご協力いただけることは沢山あります。ご相談を受け付けています。